

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：美の思想 ILAS Seminar :Aesthetics			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 武田 宙也		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール (対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	20 (15) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	金5	教室	共北3A			使用言語	日本語
キーワード	美学 / 芸術学 / 発表 / 議論						
(総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
美学・芸術学研究 (美や芸術についての哲学的思考) とはどのようなものか、発表と議論を通じて体験的に理解する。							
[到達目標]							
文献を正確に読解する能力、それを独自の観点から論じる能力、発表に対する質問力などを総合的に養う。							
[授業計画と内容]							
美学・芸術学に関する基本文献を取り上げ、毎回担当者が決められた範囲について分析と考察を加えた発表を行い、その後発表をめぐって皆で議論をする。取り上げる文献としては、とりわけ現代の芸術および文化的現象について考えるうえで広く示唆に富み、かつ専門的知識がなくても取り組みやすいものを予定している (たとえば今道友信『美について』、西村清和『現代アートの哲学』、佐々木健一『美学への招待』など)。初回にガイダンスを行い、また発表のスケジュールを決めた後、各回の授業は基本的に、受講者の報告と議論を中心として進行する。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。 第1回：イントロダクション 第2回ー第14回：担当者による発表、教員による指導、受講者同士のディスカッション フィードバック：詳細は別途連絡							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
出席状況と授業への参加度 (50%) および発表内容 (50%) によって評価する。							
[教科書]							
プリントを配布予定							
[参考書等]							
(参考書) 授業中に紹介する							
----- ILASセミナー：美の思想(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：美の思想(2)

[授業外学修（予習・復習）等]

発表の対象となる箇所をあらかじめ読んでくること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]